

自治基本条例（仮称）骨子案素案に関する  
無作為抽出市民ワークショップ

（平成 30 年 3 月 3 日、10 日開催）

報 告 書

武 蔵 野 市



# 目 次

## I ワークショップ実施概要

1 目的と位置づけ	4
2 事業概要	4
3 参加対象者の抽出と決定までの流れ	4
4 当日の実施方法	5
5 総評	6

## II ワークショップ討議結果

1 討議結果の概要	8
2 報告用シート（日付別グループ別）	10

## III 資 料

### 1 当日資料

#### （1）スライド資料（参加者にも印刷して配布）

① 3月3日	35
② 3月10日	37
（2）配布資料	41
（3）スタッフ用資料	42

### 2 参加者のアンケート集計結果

### 3 その他資料

（1）ワークショップのご案内	54
（2）承諾書	56
（3）決定通知	57
（4）再勧奨通知	58
（5）傍聴者への案内	59





# I ワークショップ実施概要

## 1 目的と位置づけ

本市は、自治及び市政運営に関する基本的な事項を定めるとともに、市民、市議会、市長等それぞれの役割を明確にし、市民自治をさらに推進することを目的として、自治基本条例（仮称）の制定を目指している。条例の骨子案（条例に盛り込むべき要点や方向性を示すもの）について検討するため、平成 28 年 11 月に学識経験者、市民公募委員、副市長、そして市議会議員で構成する自治基本条例（仮称）に関する懇談会（以下「懇談会」という。）を設置した。19 回の会議を経て、懇談会において骨子案の素案がまとまったため、平成 30 年 2 月 15 日にこれを公表した。骨子案素案に対する市民意見の聴取については、懇談会と随時相談しつつ、これまで長期計画の策定等の場面においても行っている無作為抽出市民ワークショップを手法の 1 つとして用いることとした。（他に、市民意見交換会及びパブリックコメントも実施）市民に対し、自治基本条例の周知を図りながら、これまであまり市政に興味がなかった人にも新たな参加の機会を提供し、骨子案素案に対するご意見をいただくことを目的に実施した。いただいたご意見は懇談会に報告し、骨子案への反映について議論する。

## 2 事業概要

- (1) 日 時 平成 30 年 3 月 3 日（土）及び 10 日（土）両日とも 13：00～16：45
- (2) 会 場 商工会館市民会議室（ゼロワンホール）
- (3) 参加承諾者数 3 日：49 人 10 日：49 人
- (4) 参加者数 3 日：45 人 10 日：42 人
- (5) テーマ 3 日：①「議会・市長等の責務」「市民の役割」  
10 日：②の 1「情報共有」②の 2「市民参加」③「住民投票」
- (6) 謝 礼 各日 4,000 円（クオカード）
- (7) アンケート回収数 3 日：44 人 10 日：42 人
- (8) 託児数 3 日のみ 1 人

## 3 参加対象者の抽出と決定までの流れ

平成 30 年 1 月上旬	情報管理課に参加対象者を抽出依頼 対象者は次の①② これまで無作為抽出ワークショップを実施した際、若年層の参加率が低いことが課題としてあったため、若年層を厚めに抽出することとした。 ① 平成 30 年 1 月 1 日現在、年齢 18 才以上の者 1,050 名（外国人を含む。）（50 名は引き抜き後の補充分） ② 平成 30 年 1 月 1 日現在、年齢 18 才～30 才の者 500 名（外国人を含む。）（①で抽出された方は除く）
1 月下旬	参加対象者宛に、承諾書返送締切 2/9 で参加案内通知（P. 54～56 参照）を送付
2 月上旬	当初 2 日間参加を条件としていたが、申込み率がそこまで高くなかったため、1 日のみの参加も可として再勧奨通知を送付
2 月中旬	参加承諾者が定員に満たなかったため、承諾書を送付していただいた方全員宛に参加決定通知（P. 57 参照）及び骨子案素案の冊子を送付

## 4 当日の実施方法

### (1) 参加者は受付でくじを引き、テーブルを決定

1 グループ当たり 5～6 人で全 8 テーブルに分かれた。

1 日目、2 日目でそれぞれくじを引き、異なるグループとした。

1 日目実施時に、一部のグループに年代の偏りが見られたため、2 日間は、事前に参加者を年代が高い方のグループと、低い方のグループと 2 つに分け、それぞれにくじの箱を用意するなどして、1 つのグループ内で年代がばらけるようになるよう工夫をした。

### (2) 事務局から

①自治基本条例についての説明

②ワークショップの進め方について説明

③テーマについて説明

### (3) テーマについてワークショップ（グループでの話し合い）の開始

＊1 日目はテーマが 1 つだったため（議会・市長等・市民 3 者それぞれの役割について）、事務局からの説明は冒頭に行い、テーマについての話し合いの時間を長く設けていたが、グループによってはまとめまでかなり早めに終わってしまったところもあり、2 日目はテーマの説明と話し合いとを交互に設け、時間を細かく区切るなどしてメリハリが出るようにした。

### (4) 時間内にグループでの話し合いの結果を報告用の用紙にまとめる。

＊ワールドカフェ方式（メンバー交代）はとっていない。

＊早めにまとめ終わったグループ同士で内容を発表し合うなど、共有を図った。

### (5) 全員の前のグループごとの発表は行わず、完成した報告用の用紙を全グループ分貼り出した上で、事務局が内容を読み上げる形で全体共有を図った。

※ 詳しいタイムスケジュールについては P. 42～43 の「スタッフ用資料 WS のながれ」を参照のこと。

## 5 総 評

今回のワークショップは「自治基本条例」というなかなか市民の皆さまには馴染みが薄いと思われるものが対象だったこともあり、ワークショップのテーマ決めにおいては、骨子案素案の中から、市民の方にとっても比較的身近で想像がしやすいと思われる項目を選んだ。骨子案素案についてのご意見をいただくことが目的のため、話し合いを始めていただくにあたっては、「自治基本条例とはどういうものか」という説明に加え、各項目についても、スライドを使用して具体例などを入れながら解説を行い、各グループにおいて目的に沿った話し合いをしていただけるように工夫した。

市民の方にいかに身近な問題として考えていただけるか、そもそも参加していただけるかというところが大きなハードルであったため、事前に懇談会の市民委員からご意見をいただき、大いに参加案内通知や全体構成の参考とさせていただいた。また、ワーキングメンバーにも説明用の資料づくりや当日の運営など、全般に渡って力を借り、実施することができた。

承諾者の割合としては、1,500人参加案内を発送したうち49人（約3.3%）のため、過去の長期計画での実績（第五期長期計画調整計画で実施した無作為抽出ワークショップの承諾者の割合の平均は約6.3%）に比べると決して多くはないが、3月という年度末であったことに加え、当初は2週連続で参加できることを条件としていたため（承諾書返送率があまり高くなかったため、途中でその条件を緩和し、1日のみの参加も可とした）、割合が下がったとも考えられる。

## Ⅱ ワークショップ討議結果

## 1 討議結果の概要

ワークショップのテーマは、全体を通して3つあり、①まちをつくっている人たち ②情報共有と市政への市民参加 ③住民投票 であった。このうち①についての話し合いを「議会・市長等の責務」と「市民の役割」の大きく2つに分けて1日目に行い、②と③については2日目に行った。

1日目のテーマである「議会・市長等の責務」と「市民の役割」について、骨子案素案においては議会の責務と市長等の責務とそれぞれ項目を分けて記載しているが、一般の市民の方にとっては自分たち（市民）と相対する概念として市側ということで一つにまとめた。「議会・市長等の責務」と「市民の役割」とで時間を区切り、自分たちのグループで大切に思うそれぞれの責務・役割とそう考えた理由を報告書に記載していただいた。さまざまな意見が出されたが、議会・市長等の責務では、「分かりやすい情報発信をして欲しい」、「市民の意見を取り入れて欲しい」、など情報共有や市民参加にかかる意見が多く見られた。また、市民の役割についても、自分たち市民も情報を知ろうと努力をするとともに、地域の活動又は市政に参加する役割があると考えているグループが多く、情報共有と市民参加の重要性が際立つ結果となった。

2日目のテーマは「情報共有と市政への市民参加」と「住民投票」の2つとした。1日目のワークショップの結果からも見えたように、市民にとって最も身近であり、かつ重要と思われる情報共有と市民参加を選択し、さらに市民参加の形態の1つで、懇談会においても多くの議論の時間を費やした住民投票を加えた。

情報共有と市民参加については1日目と同様、大事に思う事とその理由を挙げていただくこととしたが、結論を導き出すヒントとして、報告用の書式に論点となりそうなポイントをあらかじめ具体例で示すなどの工夫をした。情報共有に関しては、分かりやすく、多様な手段で取得できるように、といったご意見が多く、市民参加についても、気軽に参加しやすい仕組みづくりをしてほしい、といった意見が多く見られた。

住民投票については、懇談会での議論で意見が分かれた部分を具体的に提示し、市民の意見を聞いてみるという試みを行った。簡単にまとめると以下のような結果となった。

住民投票は必要かどうか。	必要 (6)	不要 (1)	保留 (1)
国や都の権限に関わる事務など、市に権限がない事項でも住民投票の対象とするかどうか。	対象とすべき (1)	対象としなくて良い (5)	保留 (2)
投票率の制限（成立要件）を設けるべきかどうか。	設ける (8)	設けない (0)	
成立要件	50% (3)	40% (2)	その他(2)
有権者のうちの何%の人が賛成したら住民投票の結果として納得できるか。	35%以上 (3)	25%以上 (3)	それ以下 (1)

(カッコ内の数字はそれを選択したグループの数)

住民投票自体は必要と考えたグループが多かったが、市に権限がない事項についても住民投票の対象とすることについては否定的な意見が多かった。これは住民投票についての説明の中で、住民投票を1回実施するのに数千万円のコストがかかるという話も入れたことの表れと思われる。成立要件に関しては、設けるべきという意見が多く、4割以上の投票率が必要と考えたグループ

プは半数以上にのぼった。投票に来た人のうち何%の人が賛成したら結果に納得できるかについてはある程度数字がばらけたが、やはり住民投票の結果として受け入れるためには一定以上の票数が必要と考える人が多いことが分かった。

なお、いただいたご意見については「その他の意見」などに書かれたものも含め、市民意見交換会やパブリックコメントで出された意見と同じく、意見集約表としてひとつにまとめ、本報告書の完成前に別途懇談会に報告している。次ページからは実際にグループの皆さんが作成した報告用シートを掲載する。

## 2 報告用シート（日付別グループ別）

< 3月3日 >

### あなたのグループが考える 議会・市長等の責務、市民の役割

メンバー	豊田さん、平賀さん、ニッソーさん、アサヒさん、小坂	グループ No.	/
現在の 武蔵野市 について	<p>今はここが足りない、もっとこうなって欲しい・・・と思うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミセンの機能の活性化。（教員面と関係するところでもできるのでは）</li> <li>2. 若い世代が市政に関わってほしい。</li> <li>3. 公園の利用者が少ない。公園の落ち葉がひどい。</li> <li>4. 大雪・地震・台風等災害対応を期待。</li> <li>5. 交通ルールを明確化。（歩行者・自転車・車のルールが不明確）市役所行きのバスが少ない。</li> </ol>		
グループ意見まとめ	1 議会・市長等の責務	① 市民との話し合いの場の提供	
		①に至った理由： <sup>市議会</sup> 正直行政が何と行っているのか分かりづらい。コミセン等と活用して、少数派の意見も拾いあつた仕組みが必要。 <sup>市議会</sup> し、知らない専門用語が多い。	
		② 議会・市長等の活動の可視化	
		②に至った理由： <sup>市議会</sup> 代表質問とか等無所属議員の意見が伝えないし、伝わりづらい。 <sup>市議会</sup> 市議会議員の意見が伝わりづらい。	
	2 市民の役割	③ 地域コミュニケーションの活性化	
		③に至った理由： <sup>市議会</sup> 現状ではない形で、軽い負担であつてか出来る習慣が必要。隣にどんな人が住んでいるのか分からない。現状は、災害時等に混乱を起す。	
		④ 市議会について関心を持つこと	
		④に至った理由： <sup>市議会</sup> 議会と行政を監視することと努力義務などの義務と結び付け <sup>市議会</sup> 抵抗があるものの、権利で対応している面があるから。	
残 意 見 た い	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防災の各組織の連携がとれていない現状があること。              Ex. 防災推進の会、消防のボランティア等。</li> <li>2. リタイア後の知識、技能の共有方法の確立。</li> </ol>		



あなたのグループが考える **議会・市長等の責務、市民の役割**

メンバー	倉田、西園寺、野尻、大久保、佐野、三井		グループ No.	2
現在の 武蔵野市 について	<p>今はここが足りない、もっとこうなって欲しい・・・と思うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 情報公開が足りない</li> <li>- 交通インフラの整備 (歩車分離など安全のため)</li> <li>- 子供の育成</li> <li>- 市民の高齢化への対応</li> </ul>			
グループ 意見 まとめ	1 議会・ 市長等 の責務	① 市民全体最適と部分最適の両方をバランスよく追求する		
		①に至った理由: 「責務」ではなく「責任」とし、信賞必罰も入れるべき		
		② 情報公開による市民と情報共有の努力をする		
	②に至った理由: 市民の意見をどのように把握するのかわからない			
	2 市民の 役割	③ 市民の役割と権利の両方を表記してほしい。		
		③に至った理由: 市民が自ら条例を提案できるようにしてほしい。		
		④ 市民が議会や市長等をチェックする		
		④に至った理由: 議員や市長等が役割を果たしているかどうかを確認する必要がある。		
残 意 見 たい	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 全体的に骨子案はあいまいすぎる。中学生が理解できるような内容にすべき。</li> <li>- 条例の目的がわかりにくい。(市長や議員が入れかわっても、情報公開や市民参加が守られるように...という説明がひつね課長からあったが、それを聞かないとわからない)</li> <li>- 国の法律等、他の法律で決められていることはこの条例には書かない、ということを始めに書いてほしい。</li> <li>- 条例の改定の方法を条例内に入れるべきでは?</li> </ul>			

あなたのグループが考える **議会・市長等の責務、市民の役割**

メンバー	山本、辻、徳田、のた、坂本、清秋	グループ No.	3
現在の 武蔵野市 について	<p>今はここが足りない、もっとこうなって欲しい・・・と思うこと。</p> <p>・武蔵野市国庫の良さを新料向上（緑・財政）</p> <p>- 距離感が近く、行政から良い情報か<del>ない</del>。 取っていない。</p> <p>- <del>ない</del></p>		
グループ意見まとめ	1 議会・市長等の責務	① 意見を広く聞ける仕組みづくり	
		①に至った理由： 声を出しづらい人の意見も聞けるようにしてほしい。	
		<del>ない</del>	
		② 行政の妥当性の確認（フィードバック）	
	②に至った理由： 実際に行われたプロジェクトのフィードバックがない。		
	2 市民の役割	③ 災害時 <del>等</del> などの地域安全の監視	
		③に至った理由： 地域に住む者として危機を持つ事は必要。	
		④ 施策を知り、必要に応じて声を上げる	
		④に至った理由：	
残 意 見 たい	<p>・議会が市長を監視している仕組み。</p> <p>・議会を監視することが市民。</p> <p>・武蔵野市の緑の保全。</p> <p>・個々の事情への理解を持つ。（それぞれにおいてほしい人はそれぞれでかく）</p> <p>・良い情報と提供されている情報からリンクしていない。</p>		

あなたのグループが考える **議会・市長等の責務、市民の役割**

メンバー	相良 小波、アリス、リサ、タカシ、カミヤ		グループ No.	4
現在の 武蔵野市 について	<p>今はここが足りない、もっとこうなって欲しい・・・ と思うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に優しくない。 (住みやすい町No1 ≠ 住人満足度No1.)</li> <li>・世代間のつながりが弱い。</li> <li>・自治/コミセン等への参加者が固定的。</li> </ul>			
グループ 意見 まとめ	1 議会・ 市長等 の責務	① 市民満足度No1.を目指す具体策を明言すべき。		
		①に至った理由：		
		「だれ」に対する市政への関心一層重要。		
		② 率先に新しいことに取り組むべき。		
		②に至った理由： 市は人口も多し、お金も持っている。		
	2 市民の 役割	他の市・区に先駆けてサービス面・市役所をへこ。		
		③ 積極的にコミュニティに参加すべき。		
		③に至った理由：		
		自発的に人脈を創ることも重要。(今の時代Eから)。		
		④		
④に至った理由：				
残 意 見 た い				

あなたのグループが考える **議会・市長等の責務、市民の役割**

メンバー	金子、江口、加藤、高橋、小堀、松永	グループ No.	⑤
現在の 武蔵野市 について	<p>今はここが足りない、もっとこうなって欲しい・・・と思うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対するサポート<sup>要</sup>有無を所得以外の条件からも検討すべき。</li> <li>・立地の良い所を活かし、人が集まる、商業が長く発展する政策努力が欲しい。</li> <li>・ワーキングクラスへのサポート。</li> </ul>		
グループ 意見 まとめ	1 議会・ 市長等 の責務	① 分かりやすい市政の運営・会計をする。	
		①に至った理由：町会費の決算が不透明であったり、市民のニーズが把握されているという実感がないため。	
		② 市民どうしが触れ合う機会を増やす。	
		②に至った理由：世代間を越えた関わりを持つ機会が少ないように感じる。災害等に安心できる（備えのベースとして）。	
	2 市民の 役割	③ 近所の方を始め、市に対して関心を持つ。	
		③に至った理由：他人の迷惑を考えず、最低限のルールを守らない人がいるから。 (人の身にならず)	
		市のフード、ゆるキャラの存在を知らなかったから。災害時、どう動いたら良いか不明。	
		④ 市が発信する情報イベント等に能動的に反応する。	
		④に至った理由：WGで文句はでてるが、普段は意見窓口には文句入れないから。 (文句) 場合によっては	
		市政策で足りない所に気付いていない。批判的な目も必要。多角的な	
残 意 見 たい	<p>ゆるキャラがかわいくない、地元フードがない等 視点も必要。</p> <p>1 議会・市長等の責務</p> <p>③ 市政に関心を持たせる</p> <p>ツイッター、SNS等、最近の情報手段を活かしたい。</p>		

あなたのグループが考える **議会・市長等の責務、市民の役割**

メンバー	ヤスカ・モリタ・オオタ・シヤワ ケイトン・シロ	グループ No.	6	
現在の武蔵野市について	<p>今はここが足りない、もっとこうなって欲しい・・・と思うこと。</p> <p>・市・市民による動物のバリアフリー 高齢者の活躍（ボランティア制度の拡充）</p> <p>・自転車レーンの整備</p> <p>・独身者へのサービスの充実（→多様性＝高層ビルへ！）</p> <p>⇒もっと住みやすい町へ！</p>			
グループ意見まとめ	1 議会・市長等の責務	<p>① 市民との接点を増やして、幅広く意見を吸収する。</p> <p>①に至った理由： 特定の市民に偏らず、普段あまり市政に関与しない層の意見を吸収し、欲しい。</p>		
		<p>② 誰もが「知れる形」で情報を発信する。（市民の興味を引く工夫） （分かりやすく伝える工夫）</p> <p>②に至った理由： 選挙公約が実現されているのだからいい／</p>		
		<p>①と②が内定してきて、市長・議会と市民の相互理解ができて、信頼度が高まっているのではない。</p>		
	2 市民の役割	<p>③ ご近所とのあいさつでゆるい関係を作っておく。</p> <p>③に至った理由： もしもの時に、最低限の動きを知らせていなくてはいけないから...</p>		
		<p>④ 参加する・楽しむ・人をつなげる。</p> <p>④に至った理由： （主にコミュニケーションに力を入れている）人をつなげるには、まずは参加して。楽しむことも、コミュニケーションに力を入れる。</p>		
		<p>④に至った理由： （主にコミュニケーションに力を入れている）人をつなげるには、まずは参加して。楽しむことも、コミュニケーションに力を入れる。</p>		
	残したい	<p>1-③ 市民の強いリーダーシップで、前例のない事にチャレンジする。</p> <p>→市民が求める事は前例のない事が多いはず...</p> <p>・色々な意見があるのも事実なので、やはりリーダーとして決断力が必要なのは...</p>		

あなたのグループが考える議会・市長等の責務、市民の役割

メンバー	島貫.ひだ. 山口.りょう.長崎		グループ No.	7
現在の 武蔵野市 について	<p>今はここが足りない、もっとこうなって欲しい・・・と思うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武蔵野市全体としての一体感がない</li> <li>・災害時など</li> <li>・市民の意見を伝える機会・場が分かりづらい。情報共有</li> <li>・若.世代が行事に参加できていない。地域で意見を集めてみる？ 集計の方が良いのでは？</li> </ul>			
グループ 意見 まとめ	1 議会・市	① 議会での活動内容の周知 および方法の改善		
		①に至った理由：議会で何をしているのか分かりづらい、開示されている内容が分かりづらいから		
		<p>本当に必要？ 予算配分が 監視のための 適正な予算 幅広い世代・地域 第三者機関が チェック へのものにどうするか ありの？ ない？ だけ 議会の監視 するだけじゃ 相互監視を 行わなくては？</p>		
	2 市民の 役割	③ 関心を持って情報収集・情報共有を行う		
		③に至った理由：市から情報開示はされているが、私達に関心がない。チェックや共有できていない現状があるから。		
		④ 地域の人々と幅広い交流を心がける		
		④に至った理由：異世代との交流が少ない現状があるから。		
残 し た い 意 見	<p>災害時の 連絡手段 (SNS 高齢者) 他市民の模範 となる行動を 心がける 今ある設備 きれいに大切に 使っていく</p>			

あなたのグループが考える **議会・市長等の責務、市民の役割**

メンバー	薄木、中嶋 浩り 有勝、山内		グループ No.	8
現在の 武蔵野市 について	<p>今はここが足りない、もっとこうなって欲しい・・・ と思うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信力・アピール力が足りない</li> <li>・必要十分なコンパクト</li> <li>・他の区との差別化がない</li> <li>・緑をもっと大切にしたい</li> <li>・特色のある街に</li> </ul>			
グループ意見まとめ	1 議会・市長等の責務	① 透明性の高い情報公開		
		①に至った理由： 市議会の活動内容が不透明であったため。		
		② 市と市民とが関わる機会を増やす		
	②に至った理由： 関わることで市民の満足度の現状把握をはかる。			
	他の区との差別化			
	2 市民の役割	③ 選挙に行く		
		③に至った理由： 責任をもって市長・議員を選出する		
		④ 市の活動に参加する		
④に至った理由： 参加すれば意見を発言することもでき、市がどうな				
ろうとしているか市民も把握することができたため。				
残 意 見 た い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長も議会も市への誠心誠意での政策をこなうことを願います。</li> <li>・市にプライドをもつことが市民の役割であると考えます。 (市のスポーツマンになる)</li> <li>・何か特産物が欲しいです。(オアシス海老蔵)</li> <li>・市長の役割として、「市」をアピールして欲しい。</li> </ul>			



< 3月10日 >

メンバー	高橋 高橋、小堀、坂月、ナリシ、のた アカハシ	グループNo.	1
② の 1 情 報 共 有	<p>○市の情報をどれだけ活用しているか。 市報、HP、メルマガ、Twitterなど</p> <p>○市が行っている情報提供は十分か。 十分と感じている方も、足りないと感じている方もいる。 市民利用の傾向に合わせられることもあり、市民の情報を取りに行く必要も必要ない。 また市側の情報提供から</p> <p>○市政に関わるにあたって、「どのような情報」が「どのようなタイミング」で必要か。 災害時、健康面でのお知らせ、世代に応じた情報 お金の情報など、わかりやすいもの。 (介護用品など)</p> <p>○情報提供の手段として、分かりやすいものは何か。 取りに行く側が選べるように 紙の板、①電板、SNSなど、44ホタテ など</p>		
	<p>問：皆さんの考える「情報共有」に大事なことは？</p>		
	<p>一方向行でお知らせ、情報は、多ければいい。 市民へのメリット、デメリットの明確化、情報を出すタイミング (3月まででいい)</p>		
	<p>そう考えた理由： 共有の情報を生かせるように。</p>		
② の 2 市 民 参 加	<p>○市政に関して、どういうときにどういうことについて意見を伝えたいと思うか。 環境、防災、住環境、緊急時や高齢者、障がい者、子育てなど、市の推進していることへの意見など。</p>		
	<p>○市政に関して、意見を伝える機会は十分か。 機会としてはこれくらいある、期間はずす。</p>		
	<p>○市政に関して、意見を伝える方法として、どのようなものがあるとよいか。 アンケートやタウンミーティングは様々な層が参加できるように考えて、平和な関係、アンケートやタウンミーティングはいいけど、</p>		
	<p>○よりよい市民参加を進めるためには、どのようにしたらよいか。 よりよい世代が参加できるように義務化しては？ 双方向であること、意見の言いやすさ、聞き取りやすさ、意見がどのように活かされるか、少数意見も... など</p>		
<p>問：皆さんの考える「市民参加」に大事なことは？</p>			
<p>わかりやすく伝える！ 要約の整理、図や絵の活用など、市の施設に限らず、民間とコラボ？ 市政セクターの機能を広げて、「市民参加」しやすいように。(アクセスしやすい場所)</p>			
<p>そう考えた理由： 主役は市民にとって、わかりやすい。 (市民目線) 利用しやすい、参加しやすい。</p>			



		グループNo.		/		
③ 住民投票	1	問：住民投票は必要かどうか？		1 必要 2 不要 どちらかを選択し、○をつけてください。		
	1	そう考えた理由： ・手段として残っている ・積極的に必要 ・今の民意を伝える方法を活用すれば良い ・コストが低い。				
	※上記で「不要」を選択したグループも、以下の問いには住民投票を実施することになった場合を想定してお考えください。					
	2	問：市ではどうすることもできない案件（例：国や都の権限に関わる事務など）についても対象とするかどうか？ 1 対象とすべき 2 対象としなくて良い どちらかを選択し、○をつけてください。				
	そう考えた理由： 市ではどうも出来ないところ、 選択して、残っているのでは？					
3	⇒ AかBのどちらかを選択して記入	問：投票権がある人のうちの何%の人が投票に来て、そのうち何%の人が賛成したら、その結果に納得できる？ A 投票率の制限を設ける。 有権者の <input type="text"/> % の人が投票に来て、そのうち <input type="text"/> % の人が賛成したら、結果に納得できる。 B 投票率の制限を設けない 投票率には関わらず、有権者の <input type="text"/> % の人が賛成したら、結果に納得できる。				
4	その他の意見 ・議題によって、制限を変えてもいいのでは？ ・話し合いのないように、ハードルは高く。 ・世代毎の投票率のしきりを設ける。					



		グループNo.		②		
③ 住民投票	1	問：住民投票は必要かどうか？		1 必要 2 不要 どちらかを選択し、○をつけてください。		
	1	そう考えた理由： 廃地分合には意見を示したい。				
	※上記で「不要」を選択したグループも、以下の問いには住民投票を実施することになった場合を想定してお考えください。					
	2	問：市ではどうすることもできない案件（例：国や都の権限に関わる事務など）についても対象とするかどうか？ 1 対象とするべき 2 対象としなくて良い どちらかを選択し、○をつけてください。				
	2	そう考えた理由： コストを抑えた意見を示す場では住民投票を行う（アンケート、HPなど）か案件ごとに、市民の意思を確認する。				
3	⇒ A を 選 択 し て 記 入 か B の ど ち ら か	問：投票権がある人のうちの何%の人が投票に来て、そのうち何%の人が賛成したら、その結果に納得できる？ 投票率の制限を設ける。 有権者の 50 % の人が投票に来て、そのうち 70 % の人が賛成したら、結果に納得できる。				
	B	投票率の制限を設けない 投票率には関わらず、有権者の % の人が賛成したら、結果に納得できる。				
4	その他の意見 ・署名は3割以上。 ・義務教育を終えた人は投票可。 ・外国人は対象外。					

メンバー	うずまきモリタ野尻、タカミ、辻	グループNo.	③
② の 1 情 報 共 有	○市の情報をどれだけ活用しているか。		
	○市が行っている情報提供は十分か。		
	○市政に関わるにあたって、「どのような情報」が「どのようなタイミング」で必要か。		
	○情報提供の手段として、分かりやすいものは何か。など		
	問：皆さんの考える「情報共有」に大事なことは？		
	シンプルで検索しやすいこと（項目一覧見出し）		
	そう考えた理由： 発信されていても、共有されていまい。工夫が必要		
② の 2 市 民 参 加	○市政に関して、どういうときにどういうことについて意見を伝えたいと思うか。		
	○市政に関して、意見を伝える機会は十分か。		
	○市政に関して、意見を伝える方法として、どのようなものがあるとよいか。		
	アンケートはよくわかるが、（メールで送ってほしい。回答地もあり）		
	○よりよい市民参加を進めるためには、どのようにしたらよいか。など		
	問：皆さんの考える「市民参加」に大事なことは？		
	（お茶子、特産品、同世代） 気軽に参加できる。「楽しそうだな」というインセンティブ、反応		
	そう考えた理由： ハードルが高い。参加の機会が知られていない。が、与えている。		

		グループNo.		③		
③ 住民投票	1	問：住民投票は必要かどうか？		① 必要 2 不要 どちらかを選択し、○をつけてください。		
		そう考えた理由：		住民としての意見を示せる最終手段（意見と利害不一致のケースも） ただし、 $\frac{1}{50}$ は低すぎる。（イメージとして100人超など） 決定		
	※上記で「不要」を選択したグループも、以下の問いには住民投票を実施することになった場合を想定してお考えください。					
	2	問：市ではどうすることもできない案件（例：国や都の権限に関わる事務など）についても対象とするかどうか？		① 対象とすべき 2 対象としなくて良い どちらかを選択し、○をつけてください。		
		そう考えた理由：		米軍基地の誘致 原発、関連施設（最終処分場）		
3	⇒ AかBのどちらかを選択して記入	問：投票権がある人のうちの何%の人が投票に来て、そのうち何%の人が賛成したら、その結果に納得できる？				
A		投票率の制限を設ける。				
		有権者の	50 %	の人が投票に来て、そのうち	50 %	の人が賛成したら、結果に納得できる。
		投票率の制限を設けない				
B	投票率には関わらず、有権者の		%	の人が賛成したら、結果に納得できる。		
	その他の意見					
4	成立しなくても、開票、公表はしてほしい					



メンバー	中村 陽田 西園寺 岸上 中嶋	グループNo.	④
② の 1 情 報 共 有	○市の情報をどれだけ活用しているか。		
	○市が行っている情報提供は十分か。		
	○市政に関わるにあたって、「どのような情報」が「どのようなタイミング」で必要か。		
	○情報提供の手段として、分かりやすいものは何か。など		
	問：皆さんの考える「情報共有」に大事なことは？		
	相手に伝わっているか確認すること		
	そう考えた理由： 理解しているか？ 一方通行の伝達では意味がない。		
② の 2 市 民 参 加	○市政に関して、どういつときにどういつことについて意見を伝えたいと思うか。		
	○市政に関して、意見を伝える機会は十分か。		
	○市政に関して、意見を伝える方法として、どのようなものがあるとよいか。		
	○よりよい市民参加を進めるためには、どのようにしたらよいか。など		
	問：皆さんの考える「市民参加」に大事なことは？		
	市民が主体性・積極性を持って参加する		
	そう考えた理由： 参加することで自分達が住む市が良くなると思うこと		

		グループNo.		④		
③ 住民投票	1	問：住民投票は必要かどうか？		1 必要 2 不要 <small>どちらかを選択し、○をつけてください。</small>		
		そう考えた理由： <b>案件によるが市民に影響があるのであれば必要</b>				
	※上記で「不要」を選択したグループも、以下の問いには住民投票を実施することになった場合を想定してお考えください。					
	2	問：市ではどうすることもできない案件（例：国や都の権限に関わる事務など）についても対象とするかどうか？ 1 対象とするべき 2 対象としなくて良い <small>どちらかを選択し、○をつけてください。</small>				
		そう考えた理由： <b>国や都で考えれば良い。市税を使う必要はない。</b>				
3	⇒ A を 選 択 し て 記 入 か	問：投票権がある人のうちの何%の人が投票に来て、そのうち何%の人が賛成したら、その結果に納得できる？ A 投票率の制限を設ける。 有権者の <b>40</b> % の人が投票に来て、そのうち <b>70</b> % の人が賛成したら、結果に納得できる。				
	B	投票率の制限を設けない 投票率には関わらず、有権者の <b>    </b> % の人が賛成したら、結果に納得できる。				
4	その他の意見 <b>・住民税の納める金額により票を割リ振る。</b> <b>・投票率及び投票結果は公開して欲しい。</b>					

メンバー	清水、塩沢、大久保、五嶺、金子	グループNo.	5
② の 1 情 報 共 有	○市の情報をどれだけ活用しているか。		
	○市が行っている情報提供は十分か。		
	○市政に関わるにあたって、「どのような情報」が「どのようなタイミング」で必要か。		
	○情報提供の手段として、分かりやすいものは何か。など		
	必要な人に必要な情報が届くこと。		
② の 2 市 民 参 加	問：皆さんの考える「情報共有」に大事なことは？		
	今まで市政に興味がなかった人(若い・働く人)への きっかけづくり。		
	そう考えた理由： 自分と関わりがないと知ろうとする機会もないので。		
	○市政に関して、どういうときにどういうことについて意見を伝えたいと思うか。		
	○市政に関して、意見を伝える機会は十分か。		
② の 2 市 民 参 加	○市政に関して、意見を伝える方法として、どのようなものがあるとよいか。		
	○よりよい市民参加を進めるためには、どのようにしたらよいか。など		
	問：皆さんの考える「市民参加」に大事なことは？		
	市民参加をする方法をもっと伝えてほしい。		
	そう考えた理由： 参加の方法を知らなかったから。		



		グループNo.		5	
③ 住民投票	1	問：住民投票は必要かどうか？		1 <u>必要</u> 2 不要 どちらかを選択し、○をつけてください。	
		そう考えた理由：		意見を固くして。 住環境に大きな影響をおよぼす場合は市に直接訴える	
	2	問：市ではどうすることもできない案件（例：国や都の権限に関わる事務など）についても対象とするかどうか？			
		1 対象とするべき 2 <u>対象としなくて良い</u> どちらかを選択し、○をつけてください。			
	そう考えた理由：		費用がかかり、向いていないから。		
3	問：投票権がある人のうちの何%の人が投票に来て、そのうち何%の人が賛成したら、その結果に納得できる？				
	⇒ AかBのどちらかを選択して記入	A	投票率の制限を設ける。		
		有権者の	50 %	の人が投票に来て、そのうち	70 % の人が賛成したら、結果に納得できる。
	B	投票率の制限を設けない			
		投票率には関わらず、有権者の		%	の人が賛成したら、結果に納得できる。
4	その他の意見 住民投票になる前にどうにかできる市政を目指す。 投票に来る人は「住んでいる人」				

メンバー	ヤスオカ 仁田 山崎 島貫 山	グループNo.	6
② の 1 情 報 共 有	○市の情報をどれだけ活用しているか。		
	活用している人もいれば、活用していない人がいるのも事実		
	○市が行っている情報提供は十分か。		
	市民も、積極的に情報を得ようとする人達。→ (メールでの連絡や、 メールに合わせて、自分に関係のある情報を選択してくれる 仕組みがあることで便利) という意見も...		
	○市政に関わるにあたって、「どのような情報」が「どのようなタイミング」で必要か。		
② の 2 市 民 参 加	自分にとって、利害関係、興味関係のある内容によって違う。メールでも、 ○情報提供の手段として、分かりやすいものは何か。 など		
	メール、(自分に関係のある情報を選択してくれる仕組みがあると便利)		
	問：皆さんの考える「情報共有」に大事なことは？		
	市民：情報を得ようと積極的に努力する人達。 市：職員がコメンテーターになるなど、市のなかで市民と歩み寄り、直接話を聞いて欲しい。		
	そう考えた理由：直接話を聞いてもらえるので、市民も楽、市も把握しやすい。 (上記の通り)		
② の 2 市 民 参 加	○市政に関して、どういうときにどういうことについて意見を伝えたいと思うか。		
	利害関係、興味関係のある内容によって意見が言いたくなる。		
	○市政に関して、意見を伝える機会は十分か。		
	現状、少なくとも不十分ではない (機会が少なく思う程の意見がない) → 武蔵野市に比べて不満が多い		
	○市政に関して、意見を伝える方法として、どのようなものがあるとよいか。		
② の 2 市 民 参 加	(本当に意見(や不満)を伝えたいと思った場合、 電話窓口(メールを送ったり、直接話しに行くよりも、まずは電話をするのでは...?)		
	●よりよい市民参加を進めるためには、どのようにしたらよいか。 など		
	Q&Aカード、ポイントなどの餌があれば、内容に関係なく参加したいと思える。 (参加さえすれば、新たに興味を持つはず。新たな一歩が大事)		
	問：皆さんの考える「市民参加」に大事なことは？		
	参加しなければ何も生まれない。 理由は何であれ、まずは参加!!		
② の 2 市 民 参 加	そう考えた理由： 興味関係がないと、意見を伝えたいと思わない。 興味を持つためには、まずは参加をしないと始まらない。(時には餌が大事!!)		

		グループNo.		6		
③ 住 民 投 票	1	問：住民投票は必要かどうか？		1 必要 2 不要 どちらかを選択し、○をつけてください。		
	1	そう考えた理由： ・住民投票が不要になるように市が努めるべき。（市長・議会への信頼があれば投票は不要はず） ・強いて言うなら、「個別設置型」が「あってもいい」				
	※上記で「不要」を選択したグループも、以下の問いには住民投票を実施することになった場合を想定してお考えください。					
	2	問：市ではどうすることもできない案件（例：国や都の権限に関わる事務など）についても対象とするかどうか？ 1 対象とするべき 2 対象としなくて良い どちらかを選択し、○をつけてください。				
	2	そう考えた理由： 市ではどうすることも出来ないのならば、住民投票をやっても意味がないのでは...				
3	問：投票権がある人のうちの何%の人が投票に来て、そのうち何%の人が賛成したら、その結果に納得できる？					
	⇒ A を 選 択 し て ど ち ら か を 記 入	A 投票率の制限を設ける。 有権者の 66 % の人が投票に来て、そのうち 66 % の人が賛成したら、結果に納得できる。				
	B	B 投票率の制限を設けない 投票率には関わらず、有権者の % の人が賛成したら、結果に納得できる。				
4	その他の意見 投票に来なかった人は、その内容に関心がない（どうなってもいいと思っている） つまり、「有権者の何%が投票したのか」よりも、「投票に来た人のうち、何%が賛成したか」の方が大事・重要なのではないかと... 案の内容次第で有権者の投票率は自然と変わるはず... （合併の投票率が30%だったのは、70%が関心なかったということなのでは...）					

メンバー	江口さん・平賀さん・広沢さん・山本さん・小林さん	グループNo.	7
② の 1 情 報 共 有	○市の情報をどれだけ活用しているか。		
	○市が行っている情報提供は十分か。		
	○市政に関わるにあたって、「どのような情報」が「どのようなタイミング」で必要か。		
	○情報提供の手段として、分かりやすいものは何か。など		
② の 2 市 民 参 加	問：皆さんの考える「情報共有」に大事なことは？		
	情報取得手段の多様化。		
	そう考えた理由： 市報を読む時間や手間を考えると、自分の関心のある部分だけ知ることもできる。メール・SNS・アプリがより便利である為。		
	○市政に関して、どういうときにどういうことについて意見を伝えたいと思うか。		
② の 2 市 民 参 加	○市政に関して、意見を伝える機会は十分か。		
	○市政に関して、意見を伝える方法として、どのようなものがあるとよいか。		
	○よりよい市民参加を進めるためには、どのようにしたらよいか。など		
	問：皆さんの考える「市民参加」に大事なことは？		
② の 2 市 民 参 加	「相談窓口の明確化」と「市民参加の結果の開示」		
	そう考えた理由： 発生した問題に対して、すぐに連絡すればいいのだから、その後どう扱われたのか分かること、便利であり、且つ市民参加意欲も向上する為。		



		グループNo.		7		
③ 住民投票	1	問：住民投票は必要かどうか？		<input checked="" type="radio"/> 1 必要    2 不要 どちらかを選択し、○をつけてください。		
	1	そう考えた理由： <del>権力者の悪用によって</del> 制度が存在すること自体が、権力者への監視機能として機能目的ではないが、 単純に数的にどちらが多いか確かめる機会が必要の場合もあるかもしれない為、				
	※上記で「不要」を選択したグループも、以下の問いには住民投票を実施することになった場合を想定してお考えください。					
	2	問：市ではどうすることもできない案件（例：国や都の権限に関わる事務など）についても対象とするかどうか？ 1 対象とするべき <input checked="" type="radio"/> 2 対象としなくて良い どちらかを選択し、○をつけてください。				
	2	そう考えた理由： コストの関係から、市のスタンスを都や国に対して表明するだけであっては、市民の代表者たる市議会の役割にたがひではないが、				
3	⇒ AかBのどちらかを選択して記入	問：投票権がある人のうちの何%の人が投票に来て、そのうち何%の人が賛成したら、その結果に納得できる？				
A		投票率の制限を設ける。				
		有権者の	51 %	の人が投票に来て、そのうち	51 %	の人が賛成したら、結果に納得できる。
B		投票率の制限を設けない				
		投票率には関わらず、有権者の		%	の人が賛成したら、結果に納得できる。	
4	その他の意見					



		グループNo.		⑧		
③ 住 民 投 票	1	問：住民投票は必要かどうか？		<input checked="" type="radio"/> 1 必要 <input type="radio"/> 2 不要 どちらかを選択し、○をつけてください。		
		そう考えた理由： 条例を作るにあたって、市民の意見を聞くために必要。 意見表明もする場として必要				
	※上記で「不要」を選択したグループも、以下の問いには住民投票を実施することになった場合を想定してお考えください。					
	2	問：市ではどうすることもできない案件（例：国や都の権限に関わる事務など）についても対象とするかどうか？ <input checked="" type="radio"/> 1 対象とすべき <input type="radio"/> 2 対象としなくて良い どちらかを選択し、○をつけてください。				
		そう考えた理由： 法的拘束力がないので、やる必要が無い				
3	⇒ を 選 択 し て 記 入 か	問：投票権がある人のうちの何%の人が投票に来て、そのうち何%の人が賛成したら、その結果に納得できる？ <div> <input checked="" type="radio"/> A 投票率の制限を設ける。            有権者の <input type="text" value="40"/> % の人が投票に来て、そのうち <input type="text" value="50"/> % の人が賛成したら、結果に納得できる。         </div> <div> <input type="radio"/> B 投票率の制限を設けない            投票率には関わらず、有権者の <input type="text"/> % の人が賛成したら、結果に納得できる。         </div>				
4	その他の意見 不正立の場合でも開票あるべき。 どうしてもできないと対象とせず、市民への意識調査にとどめる					

### Ⅲ 資 料



# 1 当日資料

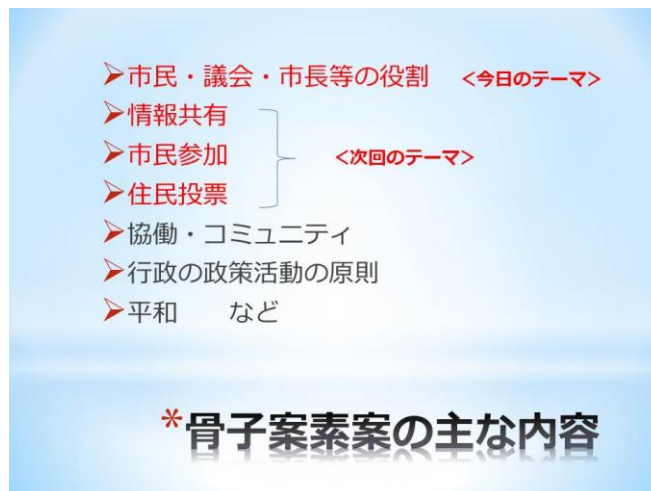
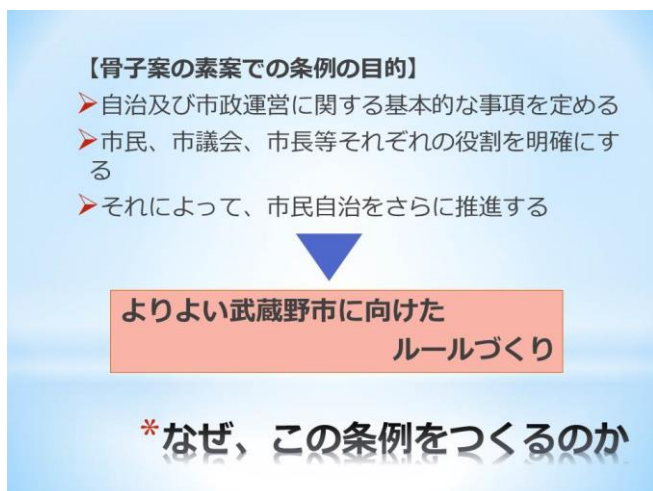
(1) スライド資料 (参加者にも印刷して配布)

① 3月3日



➤ 挨拶・注意事項	【市】	10分
➤ 自治基本条例についての説明	【市】	10分
➤ テーマ① 「まちをつくっている人たちについて」		
・自己紹介	【話し合い】	10分
・事務局説明（3者の役割、WSの進め方）	【市】	10分
・現在の武蔵野市について	【話し合い】	10分
・「議会・市長等の責務」について	【話し合い】	60分
※休憩※		
・「市民の役割」について	【話し合い】	60分
➤ チームでの話し合いのまとめ	【作業】	30分
➤ 全体共有	【市】	15分
➤ 事務連絡	【市】	5分
※【市】は市からの説明。【話し合い】や【作業】は皆さまのグループで行っていただきます。		

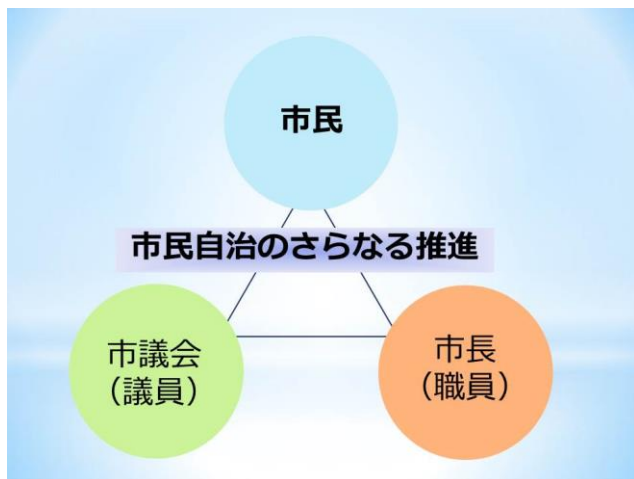
**\* タイムスケジュール**



- みなさんにやっていただきたいこと
    - グループごとにテーマについて話し合ってください。
    - 話し合いの結果、出てきたご意見をお聞かせください。
  - 出された意見は、今後の懇談会での議論の参考とします。
- \* 今回のワークショップについて**

**\* テーマ①**

**まちをつくっている人たち**



## I 現在の武蔵野市について

### II 議会・市長等の責務 (市民以外という視点での議論)

- 1 骨子案素案の説明
- 2 「議会・市長等の責務」についてチームで話し合い
- 3 「議会・市長等責務」とは何か (報告書の作成)

### III 市民の役割

- 1 骨子案素案の説明
- 2 「市民の役割」についてチームで話し合い
- 3 「市民の役割」とは何か (報告書の作成)

## \*テーマ①の進め方

- 武蔵野市に足りないことは？
- 武蔵野市にこうなってほしい

## \*現在の武蔵野市について

- 議会は、**自治の発展**に努めることとします
- 議会は、**市民の意思を市政へ反映**させるよう努めるものとします
- 議会は、**市長等を監視**すると共に、自らも**政策の立案等**を行います
- 議会は、**開かれた議会**運営に努めます

## \*議会の責務

- 市長は、市の代表者として、市政全体を**総合的に調整し、公正かつ誠実**に市政の執行にあたる責務を負います
- 市長等は、さまざまな**情報を市民へ積極的にわかりやすく提供**するよう努め、市民との情報共有を図らなければなりません
- 市長等は、**市民意見を把握し、市政に適切に反映**するよう努めるものとします
- 市長は**職員の人材育成を図る**とともに、職員が力を十分に発揮できる環境を整え、仕事の質の向上を図ることにより、**市民満足度の向上に努め**なければなりません

## \*市長等の責務

- 議会、市長等に何を期待するか。
- 議会、市長等は何をすべきか。

### <例>

- 1 行政を監視 (チェック) すること
- 2 条例の提案や政策を立案すること
- 3 自らの考えを市民に説明すること
- 4 市民の要望を聞いたり、話し合ったりすること
- 5 議会の結果を市民に報告すること
- 6 市民との信頼関係を構築すること
- 7 市民全体の奉仕者としての自覚を持つこと
- 8 誠実かつ公正に職務に取り組むこと
- 9 市民と協働したまちづくりを推進すること
- 10 行政サービスの改善に向けた創意工夫に努めること

## \*議会、市長等の責務の論点

- 市民は、**自治の主体**であり、民主主義の担い手であることを自覚して行動します
- 市民は、**次世代及び市の将来**に配慮します
- 市民は、**お互いの自由と人格**を尊重します

## \*市民の役割

- 市民として何ができるのか。
- 市民として何をすべきか。

### <例>

- 1 市政に関心を持つこと
- 2 市長や市議会を監視 (チェック) すること
- 3 地域のコミュニティに参加すること
- 4 地域の課題に自ら取り組むこと
- 5 市民同士で支え合い、助け合うこと
- 6 自らの発言と行動に責任を持つこと

## \*市民の役割の論点



② 3月10日



➢ 挨拶・注意事項	【市】	5分
➢ 自治基本条例についての説明	【市】	5分
➢ 自己紹介	【話し合い】	10分
➢ テーマ②の1 「情報共有について」		
・WSの進め方についてと情報共有について説明	【市】	10分
・情報共有に大事なことは？	【話し合い】	30分
➢ テーマ②の2 「市民参加について」		
・市民参加について説明	【市】	10分
・市民参加に大事なことは？	【話し合い】	40分
※休憩※		
➢ テーマ③ 「住民投票について」		
・住民投票について説明	【市】	20分
・住民投票の必要性など	【話し合い】	30分
➢ 話し合いのまとめと他グループとの情報交換【作業と話し合い】		35分
➢ 全体共有	【市】	15分
➢ 事務連絡	【市】	5分

**\* タイムスケジュール**

**【骨子案の素案での条例の目的】**

- 自治及び市政運営に関する基本的な事項を定める。
- 市民、市議会、市長等それぞれの役割を明確にする。
- 市民参加の保障と、市民参加を促進するための情報公開・情報共有を推進する。
- それによって、市民自治をさらに推進する。

▼

**よりよい武蔵野市に向けた  
ルールづくり**

**\* なぜ、この条例をつくるのか**

- 市民・議会・市長等の役割（テーマ①） <前回のテーマ>
- 情報共有（テーマ②の1）
- 市民参加（テーマ②の2）
- 住民投票（テーマ③）

<本日のテーマ>

- 協働・コミュニティ
- 行政の政策活動の原則
- 平和 など

**\* 骨子案素案の主な内容**

- みなさまにやっていただきたいこと
- グループごとにテーマについて話し合ってください。
- 話し合いの結果、出てきたご意見をお聞かせください。
- 出された意見は、今後の懇談会での議論の参考とします。

**\* 今回のワークショップについて**

**\* テーマ②**

**情報の共有と、  
市民の市政への参加について**

## 1 「情報共有」について

- (1) 骨子案素案の説明
- (2) チームで話し合い
- (3) 報告書の作成

## 2 「市民参加」について

- (1) 骨子案素案の説明
- (2) チームで話し合い
- (3) 報告書の作成

### \*テーマ②の進め方

## 市民自治の発展

### 市政への市民参加

- ・ 長期計画、調整計画の策定
- ・ 市民生活に大きな影響を及ぼす事項

### 市政に関する情報の共有

- ・ 行政の公正性と透明性の確保
- ・ 市民の市政参加の推進

## \*テーマ②の1

### 情報共有について

#### ➤ 情報提供の方法

- ・ 市報、ホームページ、facebook、twitter、季刊むさしの等
- ・ 各課窓口、市政資料コーナー、コミセン等における案内
- ・ 開示請求制度（武蔵野市情報公開条例） など

#### ➤ 情報提供＋市民参加 … 市政に意見を伝える仕組み

- ・ 各委員会の公募委員（市民委員）への参加
- ・ 市民と市長のふれあいトークへの参加
- ・ 事業説明会、委員会の公聴会への参加
- ・ 計画策定の意見募集、意見交換会、ワークショップへの参加
- ・ 市長への手紙
- ・ 窓口での相談、問合せ など

### \*市が行っている情報提供

## \*情報とは・・・

市政について、色々と判断したり、意見を伝えていくために必要なもの（市民参加の基礎となるもの）

市民が意見を伝えたり、市政に参加したりすることができるようにするために、市長等・議会の双方が情報の提供をしていく必要がある。

### \*「情報」の重要性

例えば…

〇〇町に大きなマンションが建つ！

⇒ 「武蔵野市まちづくり条例」で、事前に計画内容を住民に説明する機会を設けている。【情報提供】

⇒ 計画内容について、意見や要望を伝える仕組みがある。【市民参加①】

⇒ さらに、まちづくりのルールづくりを市民自らが行える仕組みもある。【市民参加②】

(例) 開発が進んでおり、緑が減ってきている…  
この地域は、緑が多く、景観を維持していきたい！

### \*「情報提供＋市民参加」の例

- 市民の「知る権利」の保障＋市の説明責任
- 適時適切な情報の公表＋分かりやすい情報公開
- 長期計画や重要な計画などの「特に重要なもの」は、その過程も含めて積極的な公開に努める。
- 情報公開に関する具体的な事項は、「武蔵野市情報公開条例」で定めています。
- 会議は原則公開。会議録・会議資料も原則公開。

### \*情報共有の基本的事項

➤ 市の情報をどれだけ活用しているか。

➤ 市が行っている情報提供は十分か。

➤ 市政に関わるにあたって、「どのような情報」が「どのようなタイミング」で必要か。

➤ 情報提供の手段として、分かりやすい（受け取りやすい）ものは何か。 など

「皆さんの考える情報共有に大事なこと」とは？

⇒ A3の報告書に記入してください。

### \*情報共有の論点



それでは、  
話し合いを始めてください。  
【～ ： まで】

15

## \*テーマ②の2

### 市民の市政への参加について

16

➤市は、市民が市政に参加する権利を保障し、参加の機会を整備（保障、用意）します。

➤市長等が実施する市民参加の対象事項は、原則として以下のとおりとします。

- ①長期計画、調整計画の策定
- ②重要な計画の策定、重要な条例の制定・改廃
- ③市民生活に大きな影響を及ぼす事項

➤①～③については、パブリックコメントと意見交換会を原則として実施します（意見に対する応答義務あり）。

### \*市民参加の基本原則

17

- ・パブリックコメント
- ・意見交換会
- ・市政アンケート
- ・市長への手紙
- ・市民と市長のふれあいトーク
- ・各事業の説明会
- ・各委員会の公募委員
- ・公聴会
- ・傍聴
- ・窓口でのやりとり

など、市民が市政に意見を伝える仕組みがあります。

### \*市民参加の仕組み

18

## 「長期計画」における市民参加

長期計画とは？

→市政運営のよりどころとなる最重要計画

- ・昭和46年の第一期基本構想・長期計画から、市民参加・議員参加・職員参加による策定方式（武蔵野方式）を継承し策定してきた。
- ・「市民を主役」とする自治体運営を目指してきた。

第五期長期計画・調整計画策定時も、パブリックコメントと意見交換会を実施した。

※市民の代表である「市長」と「市議会議員」を直接市民が選ぶ「選挙」も市民参加のひとつ

### \*武蔵野市の代表的な市民参加

19

公共施設建設等により、  
生活に影響を受ける地域の市民に対し、  
意見を述べる機会を確保するよう  
努める。

（例）道路や公園の整備

### \*それ以外の市民参加

20

- 市政に関して、どういつきに・どういつことに  
ついて意見を伝えたいと思うか。
- 市政に関して、意見を伝える機会は十分か。
- 市政に関して、意見を伝える方法として、どの  
ようなものがあるとよいか。
- よりよい市民参加を進めるためには、どのよう  
にしたらよいか。



など

「みなさんの考える市民参加に大事なこと」とは？  
⇒A3の報告書に記入してください。

### \*市民参加の論点

21

それでは、  
話し合いを始めてください。  
【～ ： まで】

22

## \* テーマ③

### 住民投票について

23

#### 1 骨子案素案の説明

#### 2 「住民投票」についてチームで話し合い

※テーマ②の市民参加で話し合ったことを参考に

#### 3 「住民投票」が必要かどうか（報告書の作成）

※必要な場合は、その内容について

## \* テーマ③の進め方

24

市政の重要課題について、  
直接、市民の意思を  
投票によって、確かめる制度

## \* 住民投票とは？

25

懇談会では、次の2つに区分しました。

#### ① 廃置分合・境界変更

（例）〇〇市との合併

#### ② それ以外の重要事項

あなたにとっての「重要」とは？

## \* 住民投票にかける事項

26

懇談会では、次のように整理しました。

#### ① 廃置分合・境界変更

→必ず住民投票を行う！！

#### ② それ以外の重要事項

→有権者の1/50以上の署名が必要

（参考）有権者の1/50＝約2,400人

## \* 住民投票を行うには？

27

➤ 住民投票 1 回あたりのコスト  
数千万円（選挙 1 回あたりのコストから試算）

➤ 住民投票の結果に、法的拘束力  
を持たせることはできない。

## \* 住民投票のetc.

28

- 「住民投票」制度が、必要かどうか。
- 「住民投票」にかける内容として、ふさわしいもの・ふさわしくないものは何か。
- 市では、「どうしてもできないこと」まで、「住民投票」の対象とするか。  
（例）日本と〇〇国が、△△条約を締結すること。
- 「住民投票」を行う場合に、考えるべきこと。  
（例）
  - 1 住民投票に必要な有権者の数をどうするか（濫用防止）。
  - 2 投票できる人（年齢・外国人）をどうするか。
  - 3 何%の人が投票して、何%の人が賛成したら、納得できますか。

## \* 住民投票の論点

29

それでは、  
話し合いを始めてください。  
【～ ： まで】

30

(2) 配布資料

話し合いの方法

- ☆ 話し合いのメンバーは、1グループあたり5～6人です。
- ☆ 時間は、1テーマあたり50分です。
- ☆ 話し合いの途中で質問がある場合や、アドバイスが必要な場合は、お近くのスタッフにお声かけください。

☆目安の時間

時間		内容
10分		市の説明を受けて、思いつくものを付せんに書き出してください。 ※1枚の付せんに1つの意見を書いてください。 ※記入には、全員が見やすいように、机上のマジックを使いましょう。
10分		付せんに書いた意見を紹介しながら、付せんを模造紙に貼っていきましょう。
30分	10分	似ている意見を分類していきましょう。
	20分	分類した意見について感想を話し合ってください。 (時間があるようでしたら隣のグループと話し合った内容の情報交換をしましょう。)
話し合い終了後 (まとめの時間)		グループで考えた主な意見を1つか2つにまとめ、A3版報告書の「グループ意見まとめ」の欄に記入してください。 ※主な意見以外で、残したい意見やおもしろい意見があれば、主な意見の下の欄に記入してください。 ※スタッフも入ってお聞きします。

話し合いのルール

- ☆ グループの全員の皆さんが発言できるようにご配慮ください。
- ☆ 人の意見を聞いたうえで自分の意見を変えることは構いません。
- ☆ 人の意見は、否定するよりも、ほめることを心がけてください。

(3) スタッフ用資料 WS のながれ

① 3月3日(1日目)

時刻	所要時間(分)	内容	具体的な動き
11:00		集合・会場設営	① 会場設営(市民会議室(ゼロワン)・第2会議室(託児で使用。3/3のみ。1名)) ② 会場案内貼り紙
12:30～		開場・受付開始	① 受付時、くじを引いてもらい、座ってもらうテーブルを決定 ※1人は1階で誘導。託児利用者は5階へ案内 当日キャンセルの方から連絡が入る可能性有り(管財課の携帯電話8番を前日から借用)
13:00～13:05	5	オープニング 導入・説明	司会から開始のあいさつ 課長挨拶
13:05～13:15	10	自治基本条例の説明	自治基本条例とは何か、経緯など
13:15～13:25	10	自己紹介	グループの中で自己紹介
13:25～13:45	20	WSの進め方の説明	説明の中でスタッフ(職員)紹介
		テーマ①の説明	まちをつくっている人たち(市民・議会・市長)の3者の役割について説明
13:45～13:55	10	話し合い(アイスブレイク)	現在の武蔵野市について
13:55～14:45	50	話し合い①-1	第1ラウンド 「議会・市長等の責務」について話し合い(自由討議)&付せん書き
14:45～14:55	10	休憩	
14:55～15:55	60	話し合い①-2	第2ラウンド 「市民の役割」について話し合い(自由討議)&付せん書き
15:55～16:25	30	まとめ	グループごとに話し合いのまとめ
16:25～16:40	15	全体共有	グループの話し合いのまとめの紹介
16:40～16:45	5	結び	事務連絡とあいさつ ①アンケート記入後、自由解散 ②会場出口にて受領書と引換に謝礼のクオカード手渡し
16:45～17:15	30	撤収	会場原状回復



② 3月10日（2日目）

時刻	所要時間(分)	内容	具体的な動き
11:30		集合・会場設営	③ 会場設営(市民会議室(ゼロワン)・第2会議室(託児で使用。3/3のみ。1名)) ④ 会場案内貼り紙
12:30～		開場・受付開始	③ 受付時、くじを引いてもらい、座ってもらうテーブルを決定 ※1人は1階で誘導。当日キャンセルの方から連絡が入る可能性有り(管財課の携帯電話8番を前日から借用)
13:00～13:05	5	オープニング 導入・説明	① 司会からあいさつ、前回の振り返り
13:05～13:10	5	自治基本条例の説明	自治基本条例とは何か、経緯など
13:10～13:20	10	自己紹介	グループの中で自己紹介
13:20～13:30	10	WSの進め方の説明	説明の中でスタッフ(職員)紹介
		テーマの説明②の1	「情報共有」
13:30～14:00	30	話し合い②の1	第1ラウンド「情報共有」について話し合い(自由討議)&付せん書き
14:00～14:10	10	テーマの説明②の2	「市政への市民参加」
14:10～14:50	40	話し合い②の2	第2ラウンド 「市民参加」について話し合い
14:50～15:00	10	休憩	
15:00～15:20	20	テーマの説明③	「住民投票」
15:20～15:50	30	話し合い③	第3ラウンド 「住民投票」について話し合い(自由討議)&付せん書き
15:50～16:10	20	まとめ	グループごとに話し合いのまとめ
16:10～16:25	15	情報交換	隣のグループと情報交換
16:25～16:40	15	全体共有	グループの話し合いのまとめの紹介
16:40～16:45	5	結び	事務連絡とあいさつ ①アンケート記入後、自由解散 ②会場出口にて受領書と引換に謝礼のクオカード手渡し
16:45～17:15	30	撤収	会場原状回復

## 2 参加者のアンケート集計結果（回答数：3日：44件 10日：42人）

※自由記載欄は、原文のまま表記

参加者にはワークショップ終了後にアンケートの記入をお願いし、3日：44人、10日：42人の協力を得られた。

項 目	人数		比率 (1つ上の項目に対する比率)	
	3月3日	3月10日	3月3日	3月10日
案内状送付	1500			
参加承諾者	49	49	3.3	3.3
実際の参加者	45	42	91.8	85.7
アンケート回答	44	42	97.8	100

### ○ 参加者の属性

#### 1 ご自身について回答をお願いします。（3月3日）

##### (1) 年齢

年齢構成については10歳代から70歳代までの方から参加があり、幅広い年代の方々に参加していただくことができた。第五期長期計画・調整計画策定時において、若年層の参加が少ない傾向にあったという実績を踏まえ、無作為で抽出した18歳以上の市民1,000人とは別に、無作為で抽出した30歳以下の500人にも案内状を送付した。その結果40～50歳代の人数が若干少なかったものの、大きな偏りはなく、各世代均等にばらけたと言える。

項 目	人数	比率
① 10 歳代	1	2.3
② 20 歳代	8	18.2
③ 30 歳代	7	15.9
④ 40 歳代	4	9.1
⑤ 50 歳代	6	13.6
⑥ 60 歳代	8	18.2
⑦ 70 歳代	8	18.2
⑧ 80 歳代以上	0	0
⑨ 無回答	2	4.5
合 計	44	

## (2) 住所

今回開催場所が2日程とも商工会館市民会議室だったこともあり、町目別の参加者割合については吉祥寺エリアが多くなっている。

項 目	人数	比率
① 吉祥寺東町	6	13.6
② 吉祥寺南町	7	15.9
③ 御殿山	0	0.0
④ 吉祥寺本町	4	9.1
⑤ 吉祥寺北町	4	9.1
⑥ 中町	4	9.1
⑦ 西久保	3	6.8
⑧ 緑町	1	2.3
⑨ 八幡町	3	6.8
⑩ 関前	1	2.3
⑪ 境	5	11.4
⑫ 境南町	3	6.8
⑬ 桜堤	2	4.5
⑭ 無回答	1	2.3
合 計	44	

## (3) 職業

参加者の職業については会社員が3割を超えておりもっとも多く、他は専業主婦・主夫、自営業、学生、無職と続いた。土曜日の開催であったため、平日勤めが多いと思われる会社員の層も多く出席があった。

項 目	人数	比率
① 会社員	15	34.1
② 公務員	1	2.3
③ 自営業	6	13.6
④ パート・アルバイト	2	4.5
⑤ 専業主婦・主夫	7	15.9
⑥ 学生	5	11.4
⑦ 無職	5	11.4
⑧ その他	1	2.3
不明(無回答)	2	4.5
合 計	44	

## (4) 居住年数

武蔵野市での居住年数については、④10年以上の人が、参加者のうちの6割を超えている。一方で、1年以上5年未満という人も1割おり、(3)の職業でも学生が1割程度いたことを考えると、進学をきっかけに武蔵野市に住み始めた層もいると考えられる。

項 目	人数	比率
① 1年未満	3	6.8
② 1年以上5年未満	5	11.4
③ 5年以上10年未満	3	6.8
④ 10年以上	27	61.4
不明(無回答)	6	13.6
合 計	44	

## ○ 参加のきっかけ

複数回答を可として、参加を決めた理由をすべてあげていただいた。参加人数 44 人に対し、84 件の回答をいただき、単純に割り返すと一人当たり平均 2 件程度の理由により参加を決めている。

全回答数に対する割合で最も多かったのが「③ 市民として何か活動してみたいと思っていたから」で 31.0%だった。また、次点は「⑤ 他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから」で 22.6%だった。無作為抽出の目的の 1 つとも言える新たな参加の機会の提供ということで、市政に対して興味はあるが、参加には至っていない層に対して一定の効果はあったのではないかとと思われる。

## 2 今回、参加をお決めいただいた理由はなんですか？（いくつでも）

項 目	件	比率
① 市からの案内だから行かなければいけないと思ったから	5	6.0
② 送付されてきた骨子案素案を見て興味が湧いたから	12	14.3
③ 市民として何か活動してみたいと思っていたから	26	31.0
④ 報酬がよかった(魅力的だった)から	9	10.7
⑤ 他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから	19	22.6
⑥ 日程が合ったから	11	13.1
⑦ その他(※)	2	2.4
合計	84	

※・・・時間があつた。人生に一度は触れようとしなかったものに参加するのも新鮮なのではないかと思った。せっかく抽選で当たったのなら行くべきだと思った。

## ○ 参加しての感想

「面白かった、楽しかった」と回答した人が 3 日、10 日の両日とも 8 割を超え、参加者の満足度は高かったと思われる。参加しての感想については回答がばらけたが、前向きな感想を得られた方が多いことが見受けられる。

## 3 参加された感想をお聞かせください。

項目	人数	比率	人数	比率
	3日	10日	3日	10日
①おもしろかった。楽しかった。	38	86.4	36	85.7
②おもしろくなかった。つまらなかった。	1	2.3	0	0.0
③どちらでもない。	2	4.5	4	9.5
④その他(※)	3	6.8	2	4.8
合計	44		42	

※・・・「色んな立場の人々の意見・考えを知ることが出来、大変有意義でした。」「市（懇談会）からの説明をもっと聞いてみたい。」「年齢差を感じた（問題の把握・考え方）」「意見の多様性を実感」との記述。

4 今回、ワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？  
（いくつでも）

項目	人数	比率
① 自治基本条例について関心が高まった。	24	24.7
② 今まで知らなかった人（市民）と知り合うきっかけとなった、	20	20.6
③ 今後の武蔵野市について考えるきっかけとなった。	27	27.8
④ いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった。	22	22.7
⑤ 何も感じなかった。	0	0.0
⑥ その他（※）	4	4.1
合計	97	

※・・・「幅広い年齢層での話し合いは、想像していたかた苦しさなく話せた。」「武蔵野市の情報を知るきっかけができた」との記述。

○ 今後について

今後やってみたいと思う活動として、「骨子案が完成したら読んでみたい」が5割近くで最も多く、「意見を言える場に参加したい」という意見が23.2%でそれに続いた。その他やってみたい活動を合わせると、合計で92.8%になり、多くの方の活動意欲が高いことがうかがえる。

5 今後やってみたいと思う活動はありますか？（いくつでも）

項目	人数	比率
① 骨子案が完成したら読んでみたい。	32	46.4
② 骨子案素案に対して意見を提出（パブリックコメント）したい。	6	8.7
③ 意見交換会など、市民が意見を言える場に参加したい。	16	23.2
④ 自治基本条例の制定の過程にまた関わりたい。	10	14.5
⑤ 特にやりたい活動はない。	3	4.3
⑥ その他	2	2.9
合計	69	

## ○ 当日の運営について

テーマの話し合いの時間とスタッフの対応について伺ったが、6～7割の方から適当、満足との回答が得られた。1日目は次点で長いと答えた人の割合が多かったが、2日目は逆に、次点は短いと答えた人になっており、テーマの設定によるものと思われる。

### 6 テーマの話し合いの時間について。

項目	人数	比率	人数	比率
	3日	10日	3日	10日
①適当	31	70.5	30	71.4
②長い	7	15.9	3	7.1
③短い	3	6.8	5	11.9
④その他(※)	2	4.5	2	4.8
⑤不明(無回答)	1	2.3	2	4.8
合計	44		42	

※・・・「少しグループの進め方にまかせすぎな気がしました」「割り振りが細かすぎるやられていると云う感じがした」「あと30分ぐらいほしかった」「1回としては長いけど、何回も話し合う機会が必要と思う」(3日)／「これ以上長いのはよくない。」「住民投票に関する話し合いについては時間が足りなかった。」「長いので、甘いものを少し口にしたいと思いました。」「1つ1つのテーマに深掘りするには時間が短い。」との記述。(10日)

### 7 全体を通じてスタッフの対応はどうでしたか。

項目	人数	比率	人数	比率
	3日	10日	3日	10日
①満足できた。	28	63.6	30	71.4
②ふつう。	14	31.8	8	19.0
③満足できなかった。	0	0.0	0	0.0
④不明(無回答)	2	4.5	4	9.5
合計	44		42	

## ○ 今後について

7割以上の方が、今後ワークショップの案内が届いたらまた参加したいと回答している。「その他」を回答した人は「テーマによりけり」と書いている方がほとんどで、テーマにより参加するかどうかを判断したいと考えている人が2割程度いることが伺える。

今後話し合ってみたいテーマを伺ったが、個別の施策以外にも、意見聴取の仕方や住民の権利についてなど、自治基本条例と関連が深いような項目についての希望も見受けられた。

8 今後、ワークショップのご案内が届いたら参加したいと思いますか？

項目	人数	比率
①参加したい。	32	72.7
②参加したくない。	0	0.0
③その他(※)	11	25.0
④不明(無回答)	1	2.3
合計	44	

※・・・「テーマによる」との記述。

9 今後、ワークショップを開催するとしたら、どのようなテーマを希望しますか。

- ・ 市長・議員がいる状況でワークショップがしたい
- ・ 吉祥寺などの町の美化、ヴィジュアルによる特徴化、無電柱化、商業の活性化
- ・ ゆるキャラ改善、市名物フード検討
- ・ 市側からの活動報告も同時に行う等したら、モチベーションが上がるのでは。公共施設について
- ・ 意見の出しやすいテーマ（例：市民目線で考えるテーマ）
- ・ 条例案に関して
- ・ 幅広い世代が参加可能な武蔵野市について意見を言えるワークショップ
- ・ 年齢・性別・考え方が違う方と話せて楽しかったです。
- ・ どんなテーマでも意見交換は大切。どんなテーマでも参加してみたい。
- ・ 市民の市政参加への意識向上の施策について、激甚災害時の市民行動について
- ・ 交通インフラ、コミセンについて
- ・ 今後の地域の活性化
- ・ 予算案の優先順位づけ
- ・ 緑化問題、自転車問題
- ・ 市の意見の吸いあげ方
- ・ 高齢者福祉
- ・ 防災体制について、人と動物の共生について
- ・ 道路・交通ルール
- ・ 公共の福祉と住民の権利のような事
- ・ 住みやすい街とはどういう事を考えているか。
- ・ 吉祥寺圏、中央圏、境圏等、駅周辺でなく、小学校区やコミセンのテリトリー毎のまちづくりに関して、コミセンの活動だけでなく、地域の目的別コミュニティも加わったワークショップを希望。
- ・ 市の財政をUPする活動→住民の福祉向上、老人対策、子供の教育
- ・ 少子化、外国人労働者受入れ、規制緩和、住宅（建蔽率）、小さな家ばかり増えた。多世帯住宅が建つようにして欲しい。
- ・ 子供の教育について、保育園に入るランク

- ・ ①高齢者が活躍できる場の設定について②高齢者戦力の活用法について
- ・ 市民活動に関わる事項について意見交換
- ・ 健康のことについて
- ・ 年代別のテーマ（若い人向けや、年配の方向けなど、それぞれの年代に合った制度等のWS）
- ・ ルーマニア関連

10 今回のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど）を自由にご記入ください。

（3月3日）

- ・ 特に何も変わらないだろうと思った。おつかれさまでした。
- ・ ピントはずれの意見を言ってしまったと思う。何が中心かをもっと強調してもらった方がわかりやすい。ただ、いろいろな意見をくみ取ることも、市として必要と思う。
- ・ 初めて、市民の方とこんなに話す機会ができて嬉しかったです。
- ・ 他の市民と共通している意見が数多く存在した。
- ・ グループ内に様々な年齢の方がいらっしゃって、その方々の話がとても新鮮に感じました。
- ・ 意外と意見が同じ人が多かった
- ・ 話し合いのテーマが漠然としていて少し考えづらかった点が気になった。
- ・ より多くの他グループの意見発表を聞いてみたかった。
- ・ 今後も機会があれば参加したい。市民のやってみたい事に対してフレキシブルに対応、チャレンジしてほしい。前例が無いからできない、をやめて欲しい。市長はもっと市民と触れ合って欲しい。（どうやって市民の意見を取り入れるか）
- ・ 少し難しかった
- ・ いろいろ意見はあったが根本の問題意識は同じだった
- ・ 個別の政策ではなく、おおもとなる条例を議論するというので少し難しい感じがしました。
- ・ フレームワークに関することなので、抽象論になったが、実際の暮らしに落とし込んで考える良い機会となった。
- ・ 色んな考えの人がいて、自分でも考えが変わった部分がありました。とても良い会だと思いました。
- ・ 例は書いてあってよかったが反対に例以外の考えがあまりうかばなかったが市民としての意見を言えたと思う
- ・ お一人チューターが入られると良いかと思いました。
- ・ テーマに沿った議論を行うのは難しいと感じました。それは普段、特に意見もなかったり考えたこともないテーマだからでもあります。骨子案の全体を見てからでないと、2章、3章の内容についてだけに議論を絞ることもできないと思いました。
- ・ テーブル毎に進行役が欲しかった。
- ・ 別グループで話し合った内容が共通している点が多く、同じ様に感じている人が多いことを再認識。災害時に関する意識を持っている人が多いことが印象的だった。



- ・現在自分に関係ないと思っている人達をどう関わらせていくか、将来関わった時まで待つのか、むずかしい問題ですね
- ・色々な方々の貴重な意見が伺えてとても良かったです。これからの生き方のヒントになりました。
- ・和気あいあいで良かったです。
- ・ワークショップには初めて参加したのですが、若い人の意見が聞けて良かった。
- ・文言が固いこと、言い方が難しいこと、もっと平易な文章が必要だと思った。(骨子という性格上むずかしいのかと思いましたが)
- ・今回のテーマに関してのワークショップも興味を持っている人に対しては興味深い存在ですが、多くの人には関心をもつべき対象であっても、実質とても遠い存在です。という事が解ったワークショップでもありました。
- ・市と議会の役割の現状を説明してもらいたい。議会の当条例の賛否の理由(今迄の)をまとめて提示してほしい。市が直面している最大の課題(バリアの様なもの)を示してほしい。
- ・基本条例の骨子なので具体的な義務と責任が中途半端になってしまいます。今後の条例作成で個別条例の規定が楽しみです。
- ・市民の役割、災害時の行動、身体が悪い人を安全に避難させる。
- ・色々な方々の貴重な意見が伺えてとても良かったです。これからの生き方のヒントになりました。意見を持っているが、どの様に発言したらよいかわからない人たちと話が出来たことが良かったです。
- ・今回のワークショップから抽出したケースの内検討価値有るものは深掘りする第2ステージのワークショップを期待したい。(一例:「コミュニティ構想」の運営法の現状と改善策について)
- ・話し合いの場をもてて良かったです。
- ・初めて参加でしたが、武蔵野市の実情を知ることが出来て大変良かったです。
- ・防災にくわしい方がいて良かった。

### (3月10日)

- ・市政に関心を持つきっかけを作っていただき感謝しています。
- ・情報共有、市民参加については先週のテーマとつながる点も多く、分けられないものであると感じました。住民投票は安易に行ってはならないが、内容によっては重要。投票率は、ふつうの選挙でも最低半数は欲しいものです。
- ・自分の意見は柔軟性がないと感じ、参加が場違いだったかなと思った。
- ・本日のテーマの方が具体的なイメージをもちやすくて話しやすかった。住民投票の結果について意見がかなり割れていたのが興味深かった。(成立要件と何%が賛成で納得か)
- ・難しいテーマでしたが、皆さまと意見交換ができ、有意義でした。市民参加、これからも市政に興味をもとうと思いました。
- ・骨子案についてはもっと時間をかけて話し合った方がよいと思いました。
- ・グループ替えをしたことは良かった。
- ・先週と今週で話し合いのグループを変えて頂けたので、異なる世代、性別の方とお話して

きた点が良かった。先週の議題よりも、どうしてこの話し合いを行うのか、背景が分かりづらい気がした。(例：市民参加の議題。今どれくらい活用されているのか知りたかったです。)

- ・それぞれ真剣に市政に関して意見を持っていて安心した。また、別テーマで参加してみたいと思った。
- ・他の市民とお話できて楽しかったです。
- ・人が変わって、新たな人と知り合えた。コミセンレベルで話し合っている事とは意識が低いという事では無く、意識レベルが解って非常に参考になった。
- ・普段市政に関心がなかったので今回は参加してとても良かった。コミセンへは行った事がなかった。→コミセンの働きを認識できたので積極的に参加していくことにした。先週の経験で本日は話をスムーズに出すことができた。市政への知識が数段 UP したと思う。良い一日でした。
- ・先週と比較して、グループの年齢層が幅広かったので、様々な視点から見た議論が出来ました。→ある程度、年齢層をばらけさせたグループを事前に作り、席を指定しても良いのではないのでしょうか？市政に関心を持たせるきっかけとして非常に有効な手段であると思われるので、今後も同様のイベントを数多く開くと良いと思いました。
- ・市政について関心を持ちました。自分の考えについて、まだまだ足りていないなと感じました。
- ・住民投票について話し合っ、デメリットもあることを知った。ワークショップに参加し、グループの方と意見を交換することの楽しさも知ることができた。また秋頃に市政アンケートがはさんであることを知り、今年の市政アンケートは記入したいと思った。
- ・グループの方々と率直な意見交換が出来てよかった。若い方（学生さん）がまとめて下さり助かりました。
- ・幅広く市民の意見を吸収しようとする姿勢に感銘を受けました。首都圏に住みながら地方の良い所（鳥のさえずり、虫の音、豊かな緑等）人間が本来あるべき姿を取り戻せる武蔵野市の自然を次世代に恒久的に残す努力を続けていただきたいと思います。北欧のような街を。日本が直面する高齢化問題（認知症等）も、地域コミュニティを通して武蔵野市が解決の糸口となればと思っております。
- ・若い方や住民となられてい少ない方などの意見が聞かれて良かった。長くすんでいると気づかない点も改めて発見された。何か新しい項目が出てきた時点でワークショップで実施する方法を工夫してほしい。
- ・先週今週共にいろんな世代が混在するグループになったが、市側が要求したいアウトプットを考えた時に「広く民意を」という事であれば良いが、各世代が何を考えているのか、という事であれば同世代のグループ分けをしても良いのではと思った。ディスカッションでも出たが、市側からの配布資料は分かりづらかった。(得てしてそういうものだが) 課長の話は非常にわかりやすかった。伝えたい情報が多いという事情は理解するが、その中のポイント、知っておいて欲しい事など、焦点がぼやけないような工夫が必要だと思います。民間企業の手法を取り入れると良いと思います。(営業も、市政も共通項が多いと思いますし、より良いものを目指して欲しいです。)

- ・今回、テーマを絞り込んだため、そのテーマにはいろいろ話せたが、前回よくのみ込めず、皆いろいろな意見を言っていたことは、それなりにとても勉強になった。特にテーマをもたず各人それぞれ改善してもらいたいことを集めると、とても面白い良い意見が出るかも知れない。
- ・自分の地域のコミセンに 3/5 に参加してきました。誰でも参加できました。問題が高度で、今回参加させて頂いた事で、市民として前向きに生活したいと思いました。まだ動ける私が、市民参加・協力する方法として「市民社会福祉協議会」を教えていただきました。行って来ます。
- ・普段考えない事とかを考える機会を得られた。市の地図も用意して欲しい。お菓子が欲しい（笑）
- ・意見が違う人とはなかなか結論を出すのが難しかったです。事前アンケートで、方向性が同じようなグループでワークしても良いかと思いました。
- ・2回目なので要領がわかっているのでスムーズに進んだ。年代によって考えや思いが違い色々な意見が聞けて良かった。
- ・参加者は皆テーマに対して積極的に発言していて参加しやすい機会があれば、今後も直接市民の声を聞ける機会になると感じた。この様な WS はもっと色々な場面で実施した方が良くと思う。コミセンの利用について、入りにくい、利用しにくいという声もあり、重要な地域の拠点となるコミセンのあり方については、今後考えていく必要があるのではないかな。
- ・全体論：武蔵野市は財政的に豊かであることもあり、市民としては皆満足した生活をしている。従って、市政に関する不満はほとんど持っていない。今後の方向：これまでも行って来たものと推定されるが長期・中期・具体的実行する施策の位置付を明確にして実行すると同時に市民に伝えるようにすると理解しやすい。
- ・先週よりテーマが具体的で考えやすいテーマではあった。
- ・住民投票の件は難しかった。
- ・論点を何にすべきか？意見が出せない様な事もある。もうすこし論点を小さくすべきではないか。テーマを1つぐらいにして深く考えさせる事も必要ではないか。
- ・色々な方の意見を聞けて良かったがもう少しテーマを具体的にしても良かったのではないかと思います。
- ・市政について改めて考える良い機会でした。
- ・難しいテーマでしたが、いろいろな人の意見が聞けて良かったです。3/3 とはまた異なり、（前は若い人が多かった）様々な年齢の方の意見がとても参考になりました。
- ・住民投票についてのテーマが難しかったです。市の職員の方の助言が大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・初めてこういった場に参加したが、知らない情報を知れたりして良かった。市政について、初めてきちんと考える機会になった。もっと自分の住む町について考えたいと思った。今回の WS のフィードバック（出た意見のまとめ・結果）があれば良い。（フィードバックはあるとのことで安心しました）

### 3 その他資料

#### (1) ワークショップのご案内

(表面)

# みんなで考えよう！

## 武蔵野市のこれから

知って

話そう

考えて

みなさまのご意見をお聞かせください



武蔵野市は、昭和 46 年に策定された第一期長期計画から、市民を主役とする自治体運営を目指してきました。これまでつちかってきた武蔵野市の自治のあり方を明確にし、これからの市政を運営していくためのルールづくりを目指して、平成 28 年 11 月に「武蔵野市自治基本条例（仮称）に関する懇談会」を設置しました。懇談会では、市の歴史を踏まえて、今後さらに市民自治を進めるためのルールとしてどのようなことが必要か、1 年以上に渡り検討を行ってきました。

このたび懇談会での議論を経て、条例に盛り込む内容を記載した骨子案の素案がまとまりました。しかし、現時点では「素案」であり、これで完成ではなく、これから広く市民のみなさまの声をうかがい、ご意見を反映して初めて完成形となります。ワークショップにおいて、みなさまのご意見をお聞かせください。

### ワークショップって何するの？

今回のワークショップでは、4～6 人を 1 グループとしてグループ内で自由に意見を出し合ってください。

その後グループの意見をまとめ、最後は全員の前の発表ではなく、お隣など他のグループと意見交換をしたり、まとめた内容を掲示するなどして、共有します。

### Q&A

#### 市政運営のルールとか言われても、難しいことはよくわからない…

グループでの話し合いの前に、骨子案の内容や現在の市の取組等について、事例などを交えてご説明します。それを聞いていただいた上で感じたことなどグループで話し合ってくださいと思いますので、事前の知識は必要ありません。





(裏面)

**1 日時等** 第1日目、2日目両日ともご参加いただけることが条件です。

	第1日目	第2日目
日程	平成30年3月3日(土)	平成30年3月10日(土)
時間	13:00~16:45	
会場	商工会館 市民会議室(ゼロワンホール) (吉祥寺本町 1-10-7 吉祥寺市政センターのあるビルの4階です。)	
テーマ	自治基本条例(仮称)の骨子案素案について	
内容	1. 導入 ・自治基本条例についての説明や、自己紹介 2. テーマ① まちをつくっている人たちについて 3. 他グループと意見交換	4. テーマ② 情報の共有と、市民の市政への参加について 5. テーマ③ 住民投票について 6. 他グループと意見交換
	※内容については変更になる可能性があります。 ※それぞれのテーマについて市から説明を行ってから、各グループ内で話し合う時間を設けます。	

**2 謝 礼** 2日間参加で8,000円分のクオカードをお渡しします。

**3 参加定員数** 60名

**4 参加を承諾される方**

- (1) ワークショップへの参加を承諾いただける場合は別紙承諾書に記入の上、  
同封の返信用封筒にて2月9日(金)まで(消印有効)にご返送くださ  
い。
- (2) 参加を承諾された方が定員に満たない場合には、参加を承諾された方全  
員にご参加いただけますが、定員を超えた場合は、抽選により参加者を  
決定します。いずれの場合にも、参加に承諾された者全員宛に2/20頃  
を目途に結果をご連絡します。
- (3) その他  
参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみです。ご家族の方などで  
も代理で参加することはできませんので、ご注意ください。

**5 参加を承諾されない方** 特に返信は不要です。

**6 その他**

- ・このおたよりは、平成30年1月1日時点で、市内に住民登録のある18  
歳以上の方から1,500名を無作為に選び、お送りしています。
- ・託児・手話通訳等が必要な方は承諾書にご記入ください。

★お問い合わせ★ 武蔵野市 総合政策部 企画調整課  
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28  
TEL 0422-60-1801 FAX 0422-51-5638  
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

## (2) 承諾書

### 承 諾 書

私は、自治基本条例（仮称）の骨子案に関する無作為抽出市民ワークショップの趣旨を理解し、参加することを承諾します。

平成 30 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

ふりがな  
お 名 前

生年月日    昭・旭・昭和・平成                      年                      月                      日

ご住所    武蔵野市

電話番号                      —                      —

#### ●託児サービスを利用しますか。

①いいえ ・ ②はい ⇒ お子さまのお名前：<sup>ふりがな</sup>\_\_\_\_（ 男 ・ 女 ）  
年齢： \_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_ か月

#### ●手話通訳等の配置が必要ですか。

①いいえ ・ ②はい（手話通訳・車いすの介助者）

※ 承諾書に記載された内容については、自治基本条例（仮称）の骨子案に関する無作為抽出市民ワークショップの実施目的以外には使用いたしません。

参加をご希望の方は、全ての項目についてもれがないよう記載の上、同封の返信用封筒（切手は不要です。）にて、2月9日（消印有効）までに返送してください。

### (3) 決定通知

平成 30 年 2 月 19 日

参加に承諾いただいた皆様へ

#### 自治基本条例（仮称）骨子案素案に関するワークショップへの参加決定について

このたびは、表記のワークショップへの参加のご承諾をいただき、誠にありがとうございます。

ご承諾いただいた方全員にご参加いただくことになりましたので、お知らせします。当日この書面と、同封の骨子案素案の冊子をお持ちください（なお、ご参加できる方は通知をお送りしたご本人のみです。ご家族の方でも参加はできませんのでご了承ください。）。

当日は、骨子案素案の内容について市からの説明を行った後に、テーマに沿って皆様からご意見をいただきたく、4～6人程度のグループで話し合ってください。

詳しい進め方については、当日ご説明します。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

■日 時：平成 30 年 3 月 3 日（土） 13：00～16：45  
3 月 10 日（土） 13：00～16：45

■会 場：商工会館 市民会議室（ゼロワンホール）  
吉祥寺本町 1-10-7  
武蔵野商工会議所や吉祥寺市政  
センターがあるビルの 4 階です。

※骨子案素案はホームページでもご覧いただけます。  
骨子案素案ホームページ二次元バーコード▼



■お問合せ■ 武蔵野市総合政策部企画調整課  
TEL 0422-60-1801  
（当日の連絡先）TEL 080-1273-4704

#### (4) 再勧奨通知

## ワークショップへのご案内 (再送付)

1月29日に自治基本条例（仮称）に関する骨子案素案についてのワークショップの参加案内をお送りしました。

参加の承諾書の返送期限は2月9日（消印有効）となっていました。また参加の定員に余裕がございますので、お忙しいとは存じますが、ご都合がつく場合は、ぜひご参加いただきたく、再度のお願いでこのはがきをお送りしました。

なお、以下の2日間両日の参加を条件としておりましたが、1日のみの参加も可能としました。1日のみご参加の場合は、参加可能な日にちを余白に記入していただいた上、承諾書をご返送ください。今後とも、市政にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

日時：平成30年3月3日（土）13時から

平成30年3月10日（土）13時から

会場：商工会館市民会議室（ゼロワンホール）

謝礼：2日間参加でクオカード8,000円

（1日の場合は4,000円です）

※ このハガキは、2月9日現在承諾書の返送がない方宛にお送りしています。既に返送いただいている場合は、行き違いですのでご容赦ください。

武蔵野市総合政策部企画調整課

TEL 0422-60-1801 FAX 0422-51-5638

E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp



(5) 傍聴者への案内

☆傍聴者のみなさまへ☆

ワークショップの傍聴に際しては、次のことにご配慮いただきますようお願いいたします。

☆ 傍聴は、スタッフからお伝えするエリア内でお願いします。

☆ カメラ・ビデオ撮影、録音などはご遠慮ください。

☆ その他、ワークショップの話し合いや運営の妨げになるような行動はお控えください。



自治基本条例（仮称）骨子案素案に関する  
無作為抽出市民ワークショップ  
（平成 30 年 3 月 3 日、10 日開催）  
報告書

平成 30 年 7 月

発行 武蔵野市総合政策部企画調整課  
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2 丁目 2 番 28 号  
電話 0422-60-1801